

平成 3 0 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 五倫会

平成 30 年度

社会福祉法人五倫会 事業報告

平成 30 年度は、障害者の重度化・高齢化、重複障害、医療的ケア等の多様化したニーズへの対応やサービスの向上が求められる中、三年に一度の報酬改正があった。五倫会でもそれぞれの事業においてそれを視野に入れた取り組みを行う必要ができた。そこで各事業の現状を把握し、問題点や課題、可能性を洗い出し、今後の法人の方向性を示すことができた。昨今の報酬改正では、基本報酬は低く抑えられ、加算を手厚くする傾向がある。そのため、職員に資格取得を促し、介護福祉士、社会福祉士等を取得しやすいように、補助金制度の拡充を図った。また、正職員の全員に強度行動障害支援者研修、行動援護従事者養成研修を受講させることで、報酬改正に対応することができた。

人事面では、職員の処遇改善を行った。職員数は、現在 80 名となり、人材確保については、公募の他実習生や個人的勧誘等をはじめ、様々な取り組みに努めてきた。しかしながらまだ充分とは言えない状態であるため、平成 31 年度も引き続き、最大の課題として職員一丸となつての人材確保が急務となっている。

職員の資の向上として、職員全員、各職種・各組織の多様な研修に参加した。

福祉事業を取り巻く情勢は日々変化しており、こちらからも障害福祉にとって厳しい状況となると思われるが、顧客満足度のアップを図ることが施設運営の基本であることを再確認し、今後も、経費の削減を図るなかで、職員の待遇改善、優秀な人材の確保、育成に努めるとともに、利用者ニーズに適切に対応し、地域の福祉向上に努めたい。

指定障害者支援施設 姫路暁乃里

生活介護・施設入所支援

事業報告

重度高齢化に伴い、健康管理や安全対策を中心に支援を行ってきた。特に食事に関しては、食欲が減退している利用者に対して栄養面を考慮し、咀嚼に問題がある場合は誤嚥対策として、個別での食事介助に時間をかけた。

自傷・他害行為や大きな声を出す、こだわりが強く生活リズムが崩れる利用者に対して、作業活動や生活面のスキル低下があり個別対応が増えている。個別対応が増えることにより入浴や日中活動に職員が十分に確保できなくなることもあり、利用者の日常の支援に影響があった。利用者個々の特性に合わせた支援の充実のための職員の確保が課題になっている。

事務関係・施設設備管理業務報告

	保健衛生	事務関係
定例	給食担当職員検便（月 1 回） 体重測定（利用者・月 1 回） 検温・血圧測定（利用者・随時） 健康診断（職員、利用者・年 2 回） エアコン、網戸清掃（年 3 回） 窓、換気扇、ベランダ、乾燥機清掃（毎月第 4 土曜日） 床清掃、タンス整理（週 1 回）	介護給付費（施設入所支援、生活介護、短期入所）請求 訓練給付費（共同生活援助事業）請求 地域生活支援給付費（日中短期入所） 計画相談給付費 障害児相談支援給付費 本部・施設会計試算表 預金・小口預金 取引業者支払（末日締め、翌月払い） 福祉・介護職員処遇改善 計画書 実績報告書提出 社会福祉施設職員退職共済 掛金納付対象職員届提出 利用者負担金請求 振替 障害者年金振込確認（偶数月） 利用者預かり金確認報告 介護給付費等支給申請書提出 市民税 県民税申請書提出 利用者小遣い 利用者預かり金確認報告（年 4 回）
消防用設備点検	総合点検 機器点検	関西ホーチキエンジニアリング(株)
フリーロックシステム	保守点検	日本電子工業(株)
昇降機	定期点検	(株)日立ビルシステム
自家用電気設備点検	定期点検	日本テクノ（株）
貯水槽洗浄消毒	定期	(株) 姫路洗管
全館洗管作業	定期	
浄化槽	保守点検 毎月 2 回 汚泥引抜	(株) アクアプラス

水質検査	年一回	(一社) 兵庫県水質保全センター
害虫駆除	ゴキブリ駆除 (厨房内) 定期点検 (厨房内) 毎月月末に実施	エース消毒 (株)
利用者大掃除	12 月	利用者、職員

行事報告等実施報告

日常生活に変化をつけ、幅広い余暇活動を楽しむこと、利用者の意思を尊重し行事や買物等の外出を通じて社会生活体験の機会の提供と支援を実施した。

	内容	日時	
定例	アルミ缶回収 まほろばパン購入 体操教室 太鼓教室 音楽療法	毎週木曜日 午前 毎週月曜日 午後 第 2・3・4 火曜日 第 2 金曜日 第 4 土曜日 第 1・第 3 金曜日	
期日	行事内容	場所	担当者
4 月 2 日	観桜会	市ノ池公園 太陽の郷前	森本、児島 上之園、藤井
17 日	希望外出	焼肉味園	川添
19 日	希望外出	姫路リバーシティー	内藤、児島
20 日	誕生日外出	ロイヤルホスト姫路本町店	藤井、松尾
5 月 5 日	綿外出	夢前町小畑地区	森本、上之園、濱本
10 日	綿外出	夢前町小畑地区	森本、谷
16 日	潮干狩り	的形海水浴場	上之園、蔭西、鈴木
23 日	誕生日外出	姫路リバーシティー	灘、川添
25 日	ばんたん親善運動会	加古川運動公園陸上競技場	鈴木
6 月 12 日	希望外出	ヘアースタジオ IWASAKI	川添
21 日	希望外出	ニッケパークタウン	濱本、児島
28 日	希望外出	夢乃そば	松尾、橋本
7 月 4 日	一泊旅行	鳥取県三朝温泉、蒜山高原	西村、内藤、大澤、 藤井、川添、児島
～5 日			
21 日	誕生日外出	南光ひまわり祭り	小林、川添
30 日	希望外出	姫路市立水族館	苗倉
8 月 7 日	希望外出	ヘアーサロン IWASAKI	川添
21 日	施設行事 (かき氷)	姫路暁乃里	鈴木
28 日	希望外出	ユニバーサルスタジオジャパン	川添、灘
9 月 17 日	希望外出	姫路市民会館	濱本
25 日	誕生日外出	ネスタリゾート神戸	橋本、川添
10 月 11 日	希望外出	リバーシティー	大澤
11 月 10 日	ジョイフルスポーツフェア	しらさぎ姫路みなとドーム	濱本、大澤、内藤
22 日	ばんたん・ゆうあい文化祭	姫路市文化センター	大澤、川添、内藤

12月 25日 28日	クリスマス会 餅つき	姫路暁乃里 姫路暁乃里	森本、蔭西、木津 上之園、木津
3月 15日 28日	希望外出 誕生日外出	姫路セントラルパーク 有馬温泉	大澤 上之園、川添、小林

施設外職員研修

職員の支援力向上と利用者支援の充実及び施設内研修として職員研修を実施、また専門的な知識・技術・人権意識の向上に向けて施設外研修に積極的に参加し、活力ある職場づくりに努めた。障害福祉情勢を先読み、加算要件に必要な資格の取得に努め、健全な施設運営に努めた。

期日	研修名	場所	参加者
5月 24日	糖尿病重症化予防について	姫路市防災センター	山田
7月 17日 22日 28日	OJT リーダー養成研修（基礎編） 行動援護従事者養成研修 1 日目 行動援護従事者養成研修 2 日目	兵庫県私学会館 若葉福祉作業所 若葉福祉作業所	児島 鈴木、内藤、 小林、川添、灘 鈴木、内藤、 小林、川添、灘
8月 5日 9日～10日 10日 29日	行動援護従事者養成研修 3 日目 兵庫県サービス管理責任者等研修 福祉専門職対象防災対応力向上研修 第 32 回施設長・職員合同研究会	若葉福祉作業所 明石市民会館 ＪＲ姫路駅じばさんビル 姫路商工会議所	鈴木、内藤、 小林、川添、灘 松尾 森本 森本、大澤
9月 19日 26日	利用者支援におけるレクリエーション 平成 30 年度 福祉の集い	高砂市青年の家 神戸メリケンパークオリエンタルホテル	川添 森本、内藤
10月 22日～23日 25日	全日本自閉支援者協力研究大会（三重県） 障害者虐待対応力向上研修	アスト津 ＪＲ姫路駅じばさんビル	藤井、蔭西 木津
11月 2日 6日 14日～16日 22日 27日	兵庫県知的障害者施設協会中堅職員研修会 苦情解決セミナー 全国知的障害福祉関係職員研究大会（山口県） 「気づき」と「できる」から始めるフレームワークを活用した自閉症支援 施設虐待予防と改善指導への対応	兵庫県福祉センター 兵庫県立姫路労働会館 山口市民会館 花北市民センター 姫路じばさんびる	森本、藤井 大澤 森本、小林 木津 藤井
1月 11日	ダウン症の青年期～成人期に問題が起 こる訳とその解決に向けて	三田市商工会館	蔭西
2月 5日 7日 8日	障害者虐待対応力向上研修 第 2 回施設長会研修 知的障害関係施設 の課題と施設協会の役割 行動援護従事者養成研修 1 日目	姫路じばさんびる 陽気会 相生市文化会館	木津 藤井 蔭西、喜多

8 日	虐待未然防止研修	兵庫県福祉センター	小林
22 日	行動援護従事者養成研修 2 日目	相生市文化会館	蔭西、喜多
24 日	施設職員の養成から定着に向けて 人材から人財へ	ホテル北野プラザ六甲	森本、上之園
3 月	障害者の高齢重度化と共生社会の課題	赤穂精華園	小林
5 日	行動援護従事者養成研修 3 日目	相生市文化会館	蔭西、喜多
15 日	外国人技能実習生等介護職員受入のため のセミナー	姫路じばさんびる	森本
22 日			

施設内職員研修報告

期日	内容	参加者
5 月	新人育成について、感染症対策について	職員
6 月	重度障害者支援加算対象者追加について	職員
7 月	避難訓練（日中想定）、消火訓練	職員・利用者
9 月	権利擁護（虐待）について	職員
10 月	衛生管理について	職員
11 月	ばんたんゆうあい文化祭、ふれあいコンサートについて	職員・利用者
12 月	権利擁護（人権）について、人材育成について	職員
2 月	強度行動障害、自閉症支援について	職員
3 月	避難訓練（夜間想定）、消火訓練	職員・利用者

実習生受入報告

実習生が障害者支援施設において、生活援助・利用者個々の特性の理解をする場を提供した。障害福祉をより理解できる実習となるよう各学校との連携を図ることで将来より良い人材確保につながるよう、今後も継続して実習生の受け入れを行う。

学校名	期間	人数
ハーベスト医療福祉専門学校 リトミック保育学科	5 月 21 日～6 月 1 日 (10 日間)	3
神戸常磐大学教育学部 こども教育学科	2 月 12 日～2 月 22 日 (10 日間)	3
姫路日ノ本短期大学	2 月 25 日～3 月 8 日 (10 日間)	2
合計		8

資格取得者

資格取得	人数(総取得者数)
社会福祉士	(1)
精神保健福祉士	(1)
介護福祉士	2 (8)
保育士	(1)

社会福祉主事	(3)
強度行動障害支援者養成研修（基礎）	(9)
強度行動障害支援者養成研修（実践）	(7)
知的障害援助専門員	(3)
喀痰吸引等研修終了	(2)
行動援護従事者養成研修	7(7)

姫路暁乃里(施設入所・生活介護)日課

利用者の重度化・高齢化に伴い、利用者のニーズも複雑・多様化している。基本的生活習慣の確立を支援するとともに、精神的自立や生活意欲の向上、健康の維持増進につながるような活動を行った。

時間	平日	休日
6 : 30	起床、整容	起床、整容
7 : 45	朝食準備	朝食準備
8 : 00 ～ 9 : 15	朝食 歯磨き 洗濯 清掃 朝礼	朝食 歯磨き 洗濯 清掃 朝礼
9 : 30	朝礼	朝礼
10 : 00 ～ 11 : 30	作業 活動 シーツ交換 居室整理（火曜日） 体操教室（火曜日） 音楽療法（第1・第3金曜日） 太鼓教室（第2金曜日） アルミ缶回収（木曜日）	余暇 居室整理 衛生チェック 太鼓教室（第4土曜日）
12 : 00	昼食 歯磨き	昼食 歯磨き
13 : 30 ～	バイタル測定 まほろばパン（月曜日） 女性利用者入浴 男性利用者入浴	バイタル測定 余暇 女性利用者入浴 男性利用者入浴
16 : 00	引継ぎ 余暇	引継ぎ 余暇
18 : 00	夕食 歯磨き	夕食 歯磨き
20 : 00 ～ 22 : 00	就寝準備 自由時間 消灯 2時間おきに巡室	就寝準備 自由時間 消灯 2時間おきに巡室

入所利用者年齢別表

（平成31年3月31日現在）

年齢 (歳)	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	合計 (人)
男性	1	1	10	3	0	1	1	17

	女性	0	2	3	3	3	1	1	13
	合計	1	3	13	6	3	2	2	30
			男性			女性			
最小年齢			19 歳 9 ヶ月			26 歳 11 ヶ月			
最高年齢			72 歳 1 ヶ月			71 歳 2 ヶ月			
平均年齢			39 歳 5 ヶ月			45 歳 10 ヶ月			
男女平均年齢			42 歳 2 ヶ月						

生活介護利用者年齢別表

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

年 齢	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	合 計
男 性	2	4	12	3	0	1	1	23
女 性	0	1	3	5	4	1	1	15
合 計	2	5	15	8	4	2	2	38
			男性			女性		
最小年齢			19 歳 4 ヶ月			26 歳 11 ヶ月		
最高年齢			72 歳 1 ヶ月			71 歳 2 ヶ月		
平均年齢			36 歳 4 ヶ月			46 歳 6 ヶ月		
男女平均年齢			40 歳 4 ヶ月					

生活介護利用者支援区分

障害支援区分	3	4	5	6	合計（人）
人数	0	10	16	12	38

※月平均利用定員35名

医療機関受診状況

協力医療機関の嘱託医師による毎月の往診、年 2 回の健康診断で血液検査、検尿、検便及び胸部レントゲンを実施し利用者の健康管理に努めた。また、感染症対策として日々の手洗い、換気の励行、温度・湿度の管理に努めた。

[通院状況]

科目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計（人）
内科	10	10	9	8	5	6	9	11	11	14	5	6	104
外科	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	5
整形外科	0	7	9	45	45	39	36	44	28	34	38	33	358
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
皮膚科	0	5	3	5	0	2	0	0	0	0	8	4	27
歯科	3	13	4	9	3	8	3	5	11	3	9	11	82

婦人科	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	6
高脳室	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	3	8
精神科	20	18	17	17	17	16	11	16	14	18	16	15	195
眼科	1	4	0	0	3	0	0	0	3	1	1	1	14
呼吸器科	3	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	8
神経内科	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	7
合計	38	61	45	85	75	74	61	80	69	73	81	78	820

[入院状況]

病院名	人数（病名）	期間
魚橋病院	1人（重度知的障害）	平成31年2月21日～3月22日
魚橋病院	1人（PTSD）	平成31年3月12日～4月24日

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
中村整形外科（嘱託医）	整形外科	高砂市北浜町西浜 282 - 4	079-254-5533
姫路第一病院	内科・外科・整形外科・ 脳神経外科・リハビリ	姫路市御国野国分寺 143	079-252-0581
高砂西部病院	内科・消化器内科・循環器 内科・血液内科・外科・血 管外科・小児科・産婦人 科・眼科・耳鼻咽喉科・皮 膚科・リハビリ	高砂市中筋 1 丁目 10 番 41 号	079-447-0100

利用医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
魚 橋 病 院	内科・精神科・神経内科	相生市若狭野町若狭 235-26	0791-28-1395
石 川 病 院	内科・外科・整形外科・泌 尿器科・脳神経外科	姫路市別所町別所 784 番地	079-252-5235
姫路聖マリア病院	内科・呼吸器科・外科・小 児外科・小児科・外科・整 形外科・産婦人科	姫路市仁豊野 650	079-265-5111
兵庫県立姫路循環器病 センター	循環器内科、高齢者脳機能 治療室、神経内科、脳神経 外科	姫路市西庄甲 520	079-293-3131
寺田内科呼吸器科医院	内科・呼吸器科	姫路市城東町五軒屋 3-6	079-285-0111
土 井 医 院	内科	姫路市の形町の形 1761-20	079-254-0732
播磨大塩病院	精神科	姫路市大塩町 1096	079-254-0321
中 野 診 療 所	皮膚科	白浜町甲 2138	079-246-0501
山 本 歯 科	歯科	姫路市大塩町宮前 28	079-254-6966

赤 松 眼 科	眼科	姫路市御国野町国分寺 827-3	079-253-3435
---------	----	------------------	--------------

事故報告・ヒヤリハット

与薬を忘れていた件数が6件あった。利用者家族とのコミュニケーションと職員間のコミュニケーション不足が原因の一つである。家族とのコミュニケーション不足では服薬に関しての情報が家族から得られないままの状態であり、結果、与薬忘れに至ったケースもあった。職員間での与薬に関しては情報交換が不十分で時間薬を忘れてしまったり、内容が十分周知されておらず与薬をしなければならない職員が忘れていたり、お互い一言の声掛けで防げていた事例がある。煩雑化している現場では職員間のコミュニケーションが円滑であればあるほど、お互いを補足しあい「与薬忘れ」の様なミスを防止できる。与薬に関して危機感を持って取り組み、【ヒューマンエラー】を防止していく。与薬忘れはコミュニケーションだけで防止できるとは言い切れないため、ダブルチェックや声出し確認など再度徹底をする。与薬忘れにより利用者の状態悪化につながる事もある為、薬に対しての知識を学び、必要性を理解して再発防止に努める。

事故内容	件数	ヒヤリ内容	件数
(自らによる) 怪我・転倒	4	(自らによる) 怪我・転倒	1
(他者による) 怪我・転倒	16	(他者による) 怪我・転倒	1
誤嚥	0	誤嚥	0
誤薬 (投薬忘れ含む)	6	薬関係	2
その他 (発作含む)	0	その他	1
合計	26	合計	5

作業種目・内容

作業種目	作業内容
空き缶作業	毎週木曜日、地域の方々のご協力のもと缶を回収した。道中で出会う地域の方との挨拶、地域交流に繋がっている。集めた缶はリサイクル業者に納品した。（段ボール、新聞の回収も行っている）
綿作業	「綿屋」様の請負作業で、姫路木綿の収穫から種と綿に分ける作業を行った。畑での除草作業等にも参加をした。（31年3月の納品をもち作業は終了している）
リサイクル品分別作業	「（有）ハタリサイクル」様の請負作業でモンダミン等の分別作業を細かく工程を分け、作業を通じて持続力・集中力・責任感を高め達成感や自信を引き出すことを目的とした。分別した商品はリサイクル品として再利用される。
LED	「（株）光商」様の請負作業で電球の分別作業を行った。約1ヶ月作業を行い、1回のみで作業は終了している。

作業報告

単位：円

	ハタリサイクル	綿	安田産業	L E D	アルミ缶
	分別作業	選別、畑作業	リサイクル	分別作業	
4月	7,620		14,500	50,000	20,000
5月	9,705		5,900		20,000
6月	7,230		1,470		20,000
7月	7,260		2,100		20,000
8月	5,640		8,680		20,000
9月	6,180		2,400		20,000
10月	9,630		8,000		20,000
11月			5,160		20,000
12月			5,300		20,000
1月			3,100		20,000
2月	8,130		2,800		20,000
3月	3,105	30,000	3,840		20,000
合計	64,500	30,000	63,250	50,000	240,000

余暇活動報告

周囲との協調性や自己のパフォーマンスを向上させる為に体操教室、太鼓教室、音楽療法を実施した。生活・日中活動支援を進めていく中で、余暇活動の充実の一環として行い、それを利用者が楽しみ、また生活の張りとなるような機会の提供を行った。

【体操教室】

目的：緊張を緩め、正しい姿勢の保持を身に付けることにより身体意識を高める。基礎的な運動能力を養うとともに社会性豊かに心身の調和的な発達と人間形成の基礎作りを目的とする。

内容：誰でもできて無理のない、バランスがよく動きやすい体になり、歩きやすくなる等利用者の健康維持・元気に明るく楽しむことを心がけ行った。

講師	教室日	時間	参加者
株式会社エス・エス・アイ	毎月第2・3・4火曜日	14時～15時	利用者・職員

【太鼓教室】

目的：太鼓の音、心と体を解き放ち、表現する喜びと楽しさを感じてもらう。また自立心の向上・責任感・協調性を養うことを目的とする。

内容：「民謡集団 鯨」様の指導の下、毎回十数名が楽しく活動を行った。楽しい雰囲気の中活動を行う事ができた。

講師	教室日	時間	参加者
民謡集団 鯨	毎月第2金曜日、第4土曜日	10時～11時	利用者

【音楽療法】

目的：心身のリラックス、他人とのコミュニケーションや関わり方を学ぶ、表現力を養うことで自分の意思

や感情を示せるようになる。音楽を通して「はじまり」と「終わり」を学ぶことで法則性を身につける事ができる等の効果が期待できる。

内容：カスタネットやタンバリンなどの簡単な楽器を使用して、それぞれ自分に合った音楽表現、個々の能力にあった楽しみ方ができた。

講師	教室日	時間	参加者
兵庫県認定音楽療法士会 増井先生・住野先生	毎月第1・3金曜日	10時～11時半	利用者

姫路暁乃里【日中短期入所・短期入所】

事業報告

利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、家族の想いを受け止め支援活動を行った。

【活動内容】

家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を目的としている。前年度同様に「将来を考えて利用したい、入所させたい」という希望が多く、新規契約者が増えている。

【日中短期入所・短期入所利用者数】

	日中短期入所			短期入所		
月	男性	女性	合計（人）	男性	女性	合計（人）
4月	60	10	70	80	26	106
5月	50	11	61	101	25	126
6月	41	10	51	90	35	125
7月	76	9	85	80	53	138
8月	83	6	89	76	61	137
9月	65	10	75	80	61	141
10月	55	18	73	79	73	152
11月	50	11	61	91	60	151
12月	58	10	68	86	56	142
1月	44	7	51	75	64	139
2月	50	12	62	73	38	111
3月	61	13	74	88	46	134
合計	693	127	820	999	603	1,602

【日中短期入所市町村別利用数】

姫路市	高砂市	加古川市	播磨町	明石市	合計（人）
568	230	26	2	0	826

【短期入所市町村別利用人数】

姫路市	高砂市	加古川市	播磨町	西脇市	神河町	市川町	合計 (人)
838	49	46	296	283	88	2	1,602

苦情の集計件数

今年度の苦情は0件であった。利用者および家族からの苦情に対し、適切な解決に努め、より良いサービスに繋げていけるようにする。

【苦情種別・申出人の集計】

[illegible]

日清医療食品株式会社 事業報告

食事は健康的な日常生活を維持する上で必要である。毎日3食しっかりと食事を摂る事は精神的健康感にも大きく影響し、「美味しい」「楽しい」といった充足感あるいは食事を介して社会との繋がり等により自分自身が大切にされているという自尊感情を得る事ができ、心を豊かにすることが出来る。利用者様に食事を毎日の楽しみにして頂けるように栄養面での配慮はもちろんのこと個々の嗜好や身体状況に配慮し、旬の食材を取り入れ季節感を感じてもらえるような献立づくりを心がけた。そして、利用者様の個々の食事摂取状態を考慮した食事の展開、疾病への対応、自助具などの使用、形態加工など個別対応に努めた。



(1) 利用者様の選択肢を拡げるため、複数献立を実施

選択メニュー（毎日の昼食で実施）複数献立2～3種類の中から選んで頂く。

例①



例②



(2) 3択メニュー（月2回実施）



(3) バイキング食

通常の実験メニューの種類より数多くの料理の中から好きなものを選んでもらった。利用者様が好きなものを好きなだけ取り分けて頂くバイキング形式で実施した。



(4) 行事食

四季折々の旬の食材を用い、利用者様が季節を感じられるような食事を演出した。

4月	イベント	11月	イベント
5月	こどもの日	12月	コンサート
6月	イベント		クリスマス
7月	七夕	1月	お正月
8月	イベント	2月	節分
9月	イベント	3月	ひな祭り
10月	イベント		



障害福祉サービス事業所 太陽の郷

事業報告

多機能型施設として、生活介護では体調面や個々の能力に応じて多くの余暇活動や作業等を提供した。

虐待防止法、差別解消法、合理的配慮、意思決定支援等、様々な法律や支援に対する考え方を耳にする事が多く、適切な支援内容についての検討を日々行い支援にあたった。就労継続支援B型においては、様々な作業を提供し、尚且つ工賃向上を目指した。作業内容や仕事時間の変更等も利用者と家族の理解を得えながら進めていく事が出来、多くの利用者において能力の向上も見られた。これから進んでいく高齢化や制度改定等、太陽の郷としても現状維持では難しくなってくると思う。時代の流れに沿って変わるところは変えながら太陽の郷としての特色を更に出していく事が課題となってくるだろう。

開所時間

8:00 ～ 17:00

サービス提供時間

9:00 ～ 15:30

事務関係・施設設備管理業務報告

	保健衛生	事務関係
定例	嘱託医往診（利用者・月1回） 体重測定（利用者・月1回） 血圧測定（利用者・月1回） 健康診断（職員、利用者・年2回）	介護給付費（生活介護、就労継続支援B型）請求 本部・施設会計試算表 小口預金 取引業者支払（末日締め、翌月払い） 福祉・介護職員処遇改善 計画書 実績報告書提出 社会福祉施設職員退職共済 掛金納付対象職員届提出 利用者負担金請求 振替 介護給付費等支給申請書提出 市民税 県民税申請書提出
消防用設備点検	総合点検 8/3 機器点検 2/20	安立防災株式会社
昇降機	定期点検 4/5, 5/10, 6/6, 7/5, 8/4 8/23, 9/6, 10/4, 11/20, 12/6, 1/10, 2/10	東芝エレベータ株式会社
浄化槽	4/3, 7/3, 8/10, 10/9, 1/15	(株) アクアプラス
水質検査	2/6	(一社) 兵庫県水質保全センター
食堂衛生管理	4/4, 5/2, 6/6, 7/2, 8/3, 9/5, 10/3, 11/6, 12/4, 1/8, 2/4, 3/6	衛生管理株式会社

行事等実施報告

利用者の希望を十分取り入れ、多くの行事を実施した。外出するだけではなく様々な場面においてもより良い人間関係の育成、マナー、挨拶や身だしなみを身につけてもらえるよう支援を行った。

	内容	日時	
定例	音楽クラブ 太鼓クラブ 絵画クラブ ドライブクラブ ウォーキングクラブ クッキングクラブ	第 1、第 3 金曜日 第 3 金曜日 月 3 回 月 2～3 回 月 2～3 回 月 1 回	
期日	行事内容	場所	担当者
4 月 23 日	利用者女子会	太陽の郷	清水、高田、内田、水口
5 月 16 日	潮干狩り	的形海水浴場	白井、小南、内田、藤本
5 月 25 日	ばんたん親善運動会	加古川運動公園陸上競技場	白井、小南、清水、高田
5 月 28 日	利用者女子会	赤穂海浜公園	清水、高田、内田、水口
6 月 18 日	バーベキュー	グリーンエコー笠形	白井、小南、藤本、青木
6 月 22 日	わくわく外出	神戸どうぶつ王国	白井、清水
7 月 6 日	七夕会	太陽の郷	職員 6 名
7 月 27 日	誕生日外食	和食樹家	小南、高田
8 月 8 日	そうめん流し	太陽の郷	全職員
9 月 13 日	わくわく外出	須磨水族園	小南、高田
9 月 25 日	わくわく外出	須磨水族園	小南、高田
10 月 16 日	利用者男子会	赤穂海浜公園	小南、清水、内田
10 月 23 日	利用者男子会	赤穂海浜公園	白井、水口、高田
10 月 30 日	ハロウィンパーティー	太陽の郷	職員 6 名
11 月 6 日	みかん狩り	塩屋山みかん園	白井、清水
11 月 7 日	かかしの設置へ行こう	羅漢の里	小南、内田
11 月 10 日	ジョイフルスポーツフェア	姫路みなとドーム	小南、清水、内田、高田
11 月 22 日	ゆうあい文化祭	姫路市文化センター	白井、水口、高田
12 月 11 日	誕生者外出	寿司ゆう	清水、水口
12 月 18 日	誕生者外出	台湾料理豊源	小南、内田
12 月 20 日	就労おつかれさま会	ワールドビュッフェ	職員 6 名
12 月 26 日	クリスマス会	太陽の郷	職員 5 名
1 月 4 日	初詣	大塩天満宮	小南、清水、高田、水口
2 月 1 日	節分	太陽の郷	職員 6 名
2 月 14 日	バレンタインデー	太陽の郷	全職員
3 月 14 日	わくわく外出	フルーツフラワーパーク	水口、内田
3 月 26 日	誕生者外出	台湾料理豊源	白井、清水

施設外職員研修報告

質の高いサービスを提供していく必要性が高いことから、職員研修の充実に努め、より専門的な知識・技術・人権意識の向上に向けて施設内・外研修に積極的に参加し、活力ある職場作りに努めた。

期日	研修名	場所	参加者
7 月 7 日～10 日 22 日、28 日	福祉施設長専門講座 行動援護従事者養成研修	ロフォス湘南 若葉福祉作業所	村上 白井
8 月 5 日 29 日	行動援護従事者養成研修 播淡地区施設長・職員合同研究会	若葉福祉作業所 姫路商工会議所	白井 村上、白井
9 月 14 日 19 日 26 日	障害者虐待対応力研修 利用者支援におけるレクリエーション 福祉の集い	姫路労働会館 高砂市青年の家 神戸オリエンタルホテル	廣岡 水口 村上、白井
10 月 4 日 8 日	兵庫県知的障害者施設協会 生産活動・就労支援部会研修 兵庫県知的障害者福祉大会	神戸しあわせの村 神戸市立市民会館	村上、柴田 村上、白井
11 月 2 日 9 日 13 日 26 日	中堅職員研修会 レクリエーション支援の技法 阪丹但地区知的障害者施設協会管理者研修 近畿地区知的障害者関係施設長会議	兵庫県福祉センター 高砂市青年の家 三田市民センター 神戸オリエンタルホテル	小南 水口 村上 村上、白井
2 月 5 日 8 日	障害者虐待対応力向上研修 虐待未然防止研修	姫路じばさんびる 兵庫県福祉センター	廣岡 小南
3 月 4 日	神戸コーティング事業所定例会	リコサービス新大阪	柴田

施設内職員研修等報告

	研修内容	講師・他	参加者
5 月 29 日	利用者ケース会議・検討会等 利用者ケース会議・検討会等 工賃検討会議	生活 就労	村上、白井、小南、内田、藤本 村上、白井、柴田、廣岡
6 月 15 日 20 日	利用者ケース会議・検討会等 利用者ケース会議・検討会等	就労 生活	村上、白井、柴田、廣岡 村上、白井、小南、清水、水口
7 月 26 日 27 日	利用者ケース会議・検討会等 利用者ケース会議・検討会等	就労 生活	村上、白井、柴田、廣岡 白井、小南、清水、水口
8 月 9 日 10 日	個別支援計画書会議 個別支援計画書会議	就労 生活	村上、白井、柴田、廣岡 村上、白井、小南、清水、水口

27 日	利用者ケース会議・検討会等	生活	村上、白井、小南、清水、水口
9 月 27 日	工賃検討会議 利用者ケース会議・検討会等	就労 生活	村上、白井、柴田、廣岡 村上、白井、小南、清水、高田、内田
10 月 24 日	利用者ケース会議・検討会等	就労	村上、白井、柴田、廣岡、荒川
11 月 27 日	利用者ケース会議・検討会等	就労	村上、白井、柴田、廣岡、熊田
28 日	利用者ケース会議・検討会等	就労	村上、白井、柴田、廣岡、熊田
12 月 4 日	利用者ケース会議・検討会等	生活	村上、白井、小南、清水、水口
1 月 18 日	利用者ケース会議・検討会等	就労	村上、白井、柴田、中田、廣岡 奥村、高田、伊藤
21 日	個別支援計画書会議	生活	村上、白井、小南、清水、高田、 内田、水口
25 日	利用者ケース会議・検討会等 利用者ケース会議・検討会等	就労 生活	村上、白井、柴田、伊藤 村上、白井、小南、清水、水口、高田
2 月 19 日	個別支援計画書会議	就労	村上、白井、柴田、廣岡
27 日	虐待未然防止研修 利用者ケース会議・検討会等	生活 就労	村上、白井、小南、清水、水口、高田 村上、白井、柴田、廣岡、荒川
3 月 5 日	利用者ケース会議・検討会等	就労	村上、白井、熊田、柴田、廣岡 高田、奥村
サポーターズ カレッジ	精神障害者の支援について	全職員	全職員

実習生受入報告

平成 30 年度 実習生受入れ実績なし

資格取得者

取得資格	人数(総取得者数)
社会福祉士	0 (0)
精神保健福祉士	0 (0)
介護福祉士	0 (3)
保育士	0 (1)
社会福祉主事	0 (2)
喀痰吸引等研修終了	0 (1)

太陽の郷(生活介護・就労継続支援 B 型)日課

生活介護	時 間	就労継続支援 B 型
登所	9:00	登所
朝礼・ラジオ体操	9:30	朝礼
作業・活動	9:35	作業
休憩	10:30	
	10:35	休憩

作業・活動	10：45 10：50	作業
昼食・休憩	11：50 12：00	昼食・休憩
体操 作業 休憩 作業 掃除・終礼 降所	12：40 12：50 13：00 13：30 13：45 14：00 15：00 15：30	掃除 作業 休憩 作業 掃除・終礼 降所

利用者年齢別表

生活介護

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

年齢（歳）	18～20	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	合計（人）
男性	0	2	8	2	0	0	12
女性	0	0	5	3	1	0	9
合計	0	2	13	5	1	0	21

就労継続支援 B 型

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

年齢（歳）	18～20	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	合計（人）
男性	0	4	2	4	0	0	10
女性	0	1	4	0	0	0	5
合計	0	5	6	4	0	0	15

	男性全体	女性全体	生活介護	就労 B
最少年齢	21 歳 9 ヶ月	30 歳 7 ヶ月	28 歳 1 ヶ月	21 歳 9 ヶ月
最高年齢	48 歳 9 ヶ月	53 歳 3 ヶ月	53 歳 3 ヶ月	48 歳 8 ヶ月
平均年齢	35 歳 5 ヶ月	38 歳 4 ヶ月	－	－
男女平均年齢	36 歳 6 か月		38 歳	34 歳 7 ヶ月

利用者支援区分

生活介護

区分	なし	1	2	3	4	5	6	合計（人）
人数	0	0	0	2	5	10	4	21

就労継続支援 B 型

区分	なし	1	2	3	4	5	6	合計（人）
人数	0	0	4	8	3	0	0	15

医療機関受診状況

科目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計（人）
整形外科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
内科	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	5
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	2	2	7

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
中村整形外科（嘱託医）	整形外科	高砂市北浜町西浜 1208-75	079-254-5533

事故報告・ヒヤリハット

今年度、事故は1件、ヒヤリハットは4件であった。事故内容は車のバックドアを就労B利用者が閉めた際に額をぶつけて裂傷した。ヒヤリハット内容は生活介護支援中の利用者同士のトラブルや、利用者が活動部屋から出てしまっていたという内容であった。行動等の予測による声掛けや、支援を実施する際の職員の立ち位置等、改めて見直す事で改善または防止に努めた。

事故内容	件数	ヒヤリ内容	件数
（自らによる）怪我・転倒	1	（自らによる）怪我・転倒	1
（他者による）怪我・転倒	0	（他者による）怪我・転倒	1
誤嚥	0	誤嚥	0
誤薬	0	薬関係	0
その他	0	その他	2
合計	1	合計	4

作業内容・報告

生活介護	作業内容
株式会社マスキ	箸入れ作業。1 ヶ月に約 10 万本を納品した。
工賃支給	作業を通じて得た収入から必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支給し、利用者個々の能力とモチベーションアップに努めた。

単位：円

4 月	25, 490	9 月	24, 990	2 月	20, 570
5 月	12, 985	10 月	22, 315	3 月	23, 495
6 月	14, 860	11 月	24, 550	合 計	247, 725
7 月	18, 330	12 月	23, 525		

8 月	16, 455	1 月	20, 160		
-----	---------	-----	---------	--	--

就労継続支援B型	作業内容
受託事業	パンフレット封入等の DM 作業。
	①デイリー印刷、②オグラ印刷
製造・販売事業	仕込み、配達、店舗出向等の作業。
	①お惣菜の店「ごりんや」
空缶等回収販売事業	アルミ缶回収、プレス、古雑誌等の納品等の作業。
	①進路工業、②三共スチール、③安田商店
公園管理事業	除草、清掃、リサイクル仕分け、ポスティング等の施設外就労作業。
	①播備、②一般家庭、③フロンティア、④服部プロセス、 ⑤新栄ビルサービス、⑥あぼしリサイクル
工賃支給	作業を通じて得た収入から、必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支給した。施設内作業に加え、施設外作業にも出向する事で地域との関わりや、一般常識等の取得にも繋がっている。 【 平均工賃額 】 平成27年度 7, 581円 平成28年度 10, 862円 平成29年度 21, 068円 平成30年度 26, 046円

単位：円

	受託事業	製造・販売事業	空缶回収販売事業	公園管理事業	合計
4 月	143,440	1,387,946	130,130	111,816	1,773,332
5 月	254,524	1,161,278	159,625	180,288	1,755,715
6 月	309,405	1,122,539	87,500	129,672	1,649,116
7 月	185,972	1,099,195	150,000	200,424	1,635,591
8 月	101,500	1,226,372	32,725	305,928	1,666,525
9 月	256,375	1,229,094	173,750	201,816	1,861,035
10 月	220,312	1,775,703	167,500	124,145	2,287,660
11 月	236,615	1,472,440	158,750	124,145	1,991,950
12 月	103,640	2,116,109	172,250	391,732	2,783,731
1 月	222,460	1,040,810	183,730	37,612	1,484,612
2 月	149,100	1,479,037	110,000	326,262	2,064,399
3 月	199,800	1,575,422	139,240	275,454	2,189,916
合計	2,383,143	16,685,945	1,665,200	2,409,294	23,143,582

クラブ活動報告

平成 30 年度はクッキングクラブを新たに加え、計 6 つのクラブ活動を提供した。絵画クラブも月 2 回から 3 回に増え、日々の活動に加えて多くの楽しみを提供する事が出来たと思う。

絵画クラブ

【目的】

色使いや形において「自分の好きな様に」という講師の考えの元、個性を活かす事を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
西ノ原 菜於美	月 3 回	10 時～12 時	利用者

和太鼓クラブ

【目的】

表現する喜びと楽しさを感じてもらう。また自立心の向上、責任感・協調性を養う事を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
民謡集団 鯨	毎月第 3 金曜日	13 時～15 時	利用者

音楽クラブ

【目的】

心身のリラックス、表現力を養う事で自分の意思や感情を表せられる様になる事を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
磯部 千晶	毎月第 1・3 金曜日	10 時～12 時	利用者

ウォーキングクラブ

【目的】

それぞれのペースで景色を見ながら歩く。精神の安定と健康の維持を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
施設職員	月数回	13 時～14 時	利用者

ドライブクラブ

【目的】

施設バス等を使用し、出来るだけ毎回違う場所へ行く様にしている。新鮮さと楽しさを味わってもらう事を目的としている。行先によっては降車し、散歩を実施している。

講師	教室日	時間	参加者
施設職員	月数回	13 時～15 時	利用者

クッキングクラブ

【目的】

簡単な調理や、食材の買い出しを実施している。楽しむ目的に加え、家での手伝いが何か少しでも出来る様になればという事も目的としている。

講師	教室日	時間	参加者
施設職員	月 1 回	13 時～15 時	利用者

苦情の集計件数

苦情等の件数は御家族からの 2 件であった。内容は送迎時間の間違いである。乗降場所での待ち時間が長くなってしまった事が苦情へ繋がった。対策として、複数チェックを行える様に職員間による朝礼、終礼時の確認に加え、送迎ルート毎の利用者名を掲示する事で間違いがない様に努めた。

【苦情種別・申出人の集計】

利用者		家族		代理人		職員		その他		計	
苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0

【苦情種別・苦情内容及び解決状況】

苦情・相談等の内容	件数								
	受付 件数	苦情解決の経緯						苦 情	そ の 他
		相 談 助 言	紹 介 伝 達	話 し 合 い	状 況 改 善	解 決	継 続 中		
①処遇内容に関する事項	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②事故・怪我などに関する事項	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③連絡対応に関する事項	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④その他	2	0	0	0	0	2	0	2	0
計	2	0	0	0	0	2	0	2	0

共同生活援助 チャレンジ（介護サービス包括型）

事業報告

近年、共同生活援助については入居希望のニーズは高いものの、チャレンジにおいては定員満床に至らない状況が続いている。

平成30年度は新規入居者2名、退居者2名、コンフォール大塩からふぁむ. 的形への転居1名であった。4月にふぁむ. 的形に特別支援学校卒業後の男性の受入れ、5月は入居者自身の結婚による退所と半年間女性入居者1名での生活が続いたコンフォール大塩を閉鎖し、ふぁむ. 的形に統合した。11月にはチャレンジ設立当初からの入居者が、3年のサテライト期間満了に伴い、念願の一人暮らしをスタートさせた。

生活の場（グループホーム）は同じでも、入居者一人ひとりの生活リズムは個々それぞれ違っている。ある程度統一することは可能なことかもしれないが、できる限り入居者の思いを尊重し、個別の対応を行うよう心掛けた。入居者へは共同生活を送る上で、最低限のルールをお互いを守ることができるように支援を行った。

限られた職員数で個別の対応を行うことの難しさ、職員間の情報共有・連携の大切さを痛感した。また日中活動の場としての就労先や事業所等と定期的に連絡を取り、日中・夜間を通しての支援が出来るように努めた。

共同生活援助事業所 所在地

チャレンジ大塩	姫路市大塩町1977 - 8 ヌーベルバーグNADA502
チャレンジ砥堀	姫路市砥堀1273 - 5
ふぁむ. 的形	姫路市形的町形的1768-27
コンフォール大塩	姫路市大塩町176-1 コンフォール大塩207

職員勤務体制

管理者 1 名（兼務）、サービス管理責任者 1 名（兼務）、看護師 2 名（兼務）、生活支援員 4 名、世話人 5 名、夜勤者 6 名

朝	日中	夜間
6 : 30～9 : 00	9 : 00～15 : 00 14 : 00～20 : 00	22 : 00～5 : 00

利用者状況

【定員と現員】

定 員	現 員		
	男 性	女 性	合 計
16	9	4	13

【年齢別表】

年齢（歳）	10～	20～	30～	40～	50～	70～
人 数	1	3	3	1	4	1

	男 性	女 性
最小年齢	19 歳 9 カ月	22 歳 3 カ月
最高年齢	72 歳 3 カ月	53 歳 3 カ月
平均年齢	37 歳 5 カ月	44 歳 3 カ月
男女平均年齢	39 歳 6 カ月	

【支援区分】

支援区分	1	2	3	4	5	平 均
人 数	1	4	5	1	2	2.9

【療育判定区分】

療育判定	B2	B1	A
人 数	4	4	5

【日中活動状況・一般就労（7名）】

勤務先	人 数	勤務内容
グローリーフレンドリー（株）	1	社内清掃
（株）高砂産業	1	縫製作業
（株）イオンリテール （イオン姫路店）	2	カート回収
日本水産（株）	1	食品製造
セブンイレブン高砂西浜南店	1	接客業
（株）黒田製作所	1	製造業

【日中活動状況・その他（6名）】

日中活動先	人 数	内 容
あぼしりサイクル事業所 （就労継続支援 A 型）	1	分別作業
太陽の郷 （生活介護）	1	軽作業等
太陽の郷 （就労継続支援 B 型）	1	受託作業、製造販売作業等
姫路暁乃里 （生活介護）	1	軽作業等
若葉福祉作業所 （就労継続支援 B 型）	1	軽作業等（自動車部品組立等）
つくし野デイサービス （通所介護）	1	介護福祉サービス

支援内容

① 日常生活支援

自立生活を送る上で必要となる社会人としての自覚を高め、多くの社会経験を重ねていくことを目指し支援した。特に対人関係を保つために社会的ルール、仕事上の責任など、入居者に理解しやすい日常的な事柄に即して支援した。

食事や身体の保清の支援、調理や洗濯、掃除等において各々必要に応じて援助を行った。入居者が適切な支援を得るために自己の意思を表現することができるよう、入居者、職員、世話人間の関係構築に 努め、個々の心配事や悩み、不安に対して親身に受け止め安定できるように支援した。

② 健康管理、保健衛生

日頃よりバイタルチェックを行い、健康状態の把握に努めた。入居者の表情や行動等に配慮し、状況に応じて病院受診、地域検診、健康診断等を行った。体調不良等で受診した場合は、通院後の見守りや静養に関して職員全員が連携体制を取り細心の注意を払うようにし、症状の悪化や他入居者への感染を防ぐよう努めた。服薬が必要な入居者に対しては声掛けや手渡しを行い、飲み忘れがないようにした。

食事に関しては入居者の嗜好や健康面に留意し、栄養バランスを考えながら食事提供した。入居者の嗜好を重視し、メニューの選定や買い物への参加も自主性に任せるなど生活の中での楽しみの一つとした。食物アレルギーのある入居者については、食材や献立を変更して個別対応するようにした。

③ 日中活動支援

入居者が通勤している事業所等と常に連携を図り、継続して働くことと経済的自立に向けて入居者が精神的にも安定して休まず通えるように事業所とグループホームとで日中・夜間を通して支援し、精神的な支えとなり不安が解消していけるように努めた。

各職場や事業所の担当者、職業自立支援センター担当者と情報交換を行い、定期的に訪問することで現場での状況を実際に把握することができた。

支援機関からの職場定着のための必要な協力が求められた場合には、協力して支援を行うようにした。また、個別に問題が起きた場合にはバックアップ施設である姫路暁乃里とも連携を図り、解決策について相談検討をして問題解決に努めた。

④ 金銭管理

金銭管理が不十分な入居者に対しては、個々の状況に応じて職員と共に相談や説明を行い、安定した生活が出来るよう助言等行ってきた。特に将来一人暮らしを目指す入居者については、1カ月の収支について具体的に説明し、今後の生活を見据えて少しずつでも貯蓄をしていくことの大切さを話し合った。入居者の日常の小遣いは、各自にて管理し、随時職員と共に残金を確認し、小遣い帳に記入した。

⑤ 地域交流

地域生活をしていることで社会のルールやマナーを守り、地域における入居者への理解や協力を得るため、近所の方々には進んで挨拶を行い、コミュニケーションを図った。また地域で生活しているという観点から、清掃活動には積極的に参加した。

最寄りのスーパーやコンビニ、薬局等で入居者自身が買い物を行うことで店員とのコミュニケーションの場となり、協力も頂けるようになった。

⑥ 緊急時の対応

時間帯を問わず、昼夜を通して入居者に緊急の事態が生じた場合に、速やかに対応できるよう、常時の連絡体制を確保するとともに、緊急時の連絡先や連絡方法を共同生活住居の見やすい場所に掲示した。

各ユニット毎に避難訓練を実施し、通報訓練では住所や電話番号が言えなかった入居者もいたため、訓練を通して日頃からの繰り返しの練習や声かけの大切さを痛感した。

⑦ 職員の質の向上

必要に応じて随時職員間で話し合いを行うようにした。入居者の意向・志向等の把握に努め、ニーズに沿って申し送り、検討を行ってきた。又、スキルアップの一環として看護師より各病気・疾病・特徴や対応・処置等の講義を受け入居者への病気との理解に努めた。

入居者の多様なニーズにより、対応にあたる職員が一人で抱え込み不安にならないように、日頃から支援内容や方法について職員間で話がしやすい関係・環境づくりに努めた。

⑧ 体験利用・短期入所事業

在宅で今後一人暮らし等を希望している方、高等学校卒業後の生活の場を探している方に対して、食事・掃除・洗濯等をはじめ、健康管理、金銭管理など日常生活で必要な支援を行い体験してもらった。平成29年度から利用者数はほぼ変わらないが、延べ利用者数は70日増えている。これは平成29年11月よりロングショートでの利用が続いた結果である。

【体験・短期入所利用日数】

利用月	利用日 (延日数)	利用者数 (人)	利用月	利用日 (延日数)	利用者数 (人)
4月	30日	1	10月	31日	1
5月	34日	2	11月	32日	2
6月	30日	1	12月	34日	2
7月	31日	1	1月	37日	4
8月	34日	2	2月	27日	1
9月	36日	3	3月	37日	2

延べ利用日数…393日 延べ利用者数…22人

医療機関受診状況

[通院状況]

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	2	1	3	1	1	4	2	2	1	4	1	24
整形外科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2

耳鼻科	3	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	12
皮膚科	3	0	5	4	1	0	3	1	4	2	2	2	27
歯科	0	0	1	1	0	0	0	1	1	5	0	1	10
婦人科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
循環器科	1	0	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	14
精神科	5	6	3	4	2	4	5	5	4	3	5	3	49
眼科	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
外科	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
高脳室	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	0	5
合計	15	17	13	14	8	7	15	14	13	13	14	9	152

[入院状況]

病院名	人数（病名）	期間
井野病院	1（鉄欠乏性貧血）	平成 30 年 4 月 3 日～4 月 27 日

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
中村整形外科 （嘱託医）	整形外科	高砂市北浜町西浜 282 - 4	079-254-5533
姫路第一病院	内科・外科・整形外科・ 脳神経外科・リハビリ	姫路市御国野国分寺 143	079-252-0581
高砂西部病院	内科・消化器内科・循環器内科・ 血液内科・外科・血管外科・小 児科・産婦人科・眼科・耳 鼻咽喉科・皮膚科・リハビリ	高砂市中筋 1 丁目 10 番 41 号	079-447-0100

利用医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
播磨大塩病院	精神科	姫路市大塩町 1096	079-254-0321
魚橋病院	内科・精神科・神経内科	相生市若狭野町若狭 235- 26	0791-28-1395
仁恵病院	精神科	姫路市野里 275	079-281-6980
寺田内科呼吸器科 医院	内科・呼吸器科	姫路市城東町 五軒屋敷 3-6	079-285-0111
土井医院	内科	姫路市の形町の形 1761-20	079-254-0732
兵庫県立姫路 循環器病センター	循環器内科・高齢者脳機能 治療室・神経内科・脳神経外科	姫路市西庄甲 520	079-293-3131
山本歯科	歯科	姫路市大塩町宮前 28 番地	079-254-6966

マリア病院	内科・呼吸器内科・外科 小児外科・小児科・外科 整形外科・産婦人科	姫路市仁豊野 650	079-265-5111
中野診療所	皮膚科	姫路市白浜町甲 2138	079-246-0501
いのうえ皮ふ科	皮膚科	姫路市別所町佐土 2 丁目 61	079-252-4112
みこ皮膚科	皮膚科	姫路市南今宿 2-39	079-298-1535
和辻医院	内科	姫路市仁豊野 357-1	079-264-2810
吉田 耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	高砂市荒井町扇町 14-13	079-443-0335
かなざわ歯科 クリニック	歯科	姫路市増井新町 1 丁目 8-1 しらさぎハイタウン B 棟 1F	079-287-0330
赤松眼科医院	眼科	姫路市御国野町国分寺 827-3	079-253-3435
いながき眼科	眼科	姫路市飾磨区細江 2560 イオンモール姫路 リバーシティー2 階	079-287-6272

職員研修

日時	研 修 名	場 所	参加者
7 月 5 日	成年後見制度について	障害者支援センター集会室	綿野
11 月 21 日	認知症の高齢者になっていく 利用者の受け入れについて	障害者支援センター集会室	綿野
2 月 27 日	障害者虐待防止について	障害者支援センター集会室	綿野

施設整備管理業務

- ・消防訓練…各ユニット毎に実施
- ・消防用設備点検…砥堀 1回 ふぁむ. 的形 1回
- ・消防立入検査…ふぁむ. 的形 1回

相談支援事業所 ふらっと

事業報告

相談支援事業は利用者や保護者の希望を踏まえ、たうえて目標や課題を共有し、活動の場・利用頻度などの計画を立てコーディネートする役割を担っている。

【概要報告】

平成30年度における相談支援事業所 ふらっと の概要は以下の通りであった。
特定相談支援事業、障害児相談支援事業・一般相談支援事業所として相談支援従事者研修を受けた2名が障害者相談支援事業の実施にあたり、障害児者が望む自立した社会生活を支えることを目的とし、抱える課題の解決を行い、本人に合った適切なサービスが提供されているか、他に課題はないか定期的なモニタリングを行った。必要に応じて学校関係者、保育所、事業所等と連携し、障害児者の意思や人格を尊重し地域で生活していくための支援を行っていった。

姫路市障害福祉課と市内相談支援事業者が月に2回集まり、事例検討、相談支援方法、地域資源の確認、情報交換等を行った。

市内及び近隣市に放課後等デイサービス事業所が増えていることから、児童の利用計画作成依頼が増えている。

【利用対象者】

- 障害福祉サービスまたは地域相談支援を利用するすべての障害者
- 障害福祉サービスを利用するすべての障害児

【事業内容】

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という。）に規定される「特定相談支援事業」の業務を通じて適切に実施した。

1. 計画相談支援の提供
2. サービス等利用計画の作成
3. モニタリングの実施
4. 利用者からの相談
5. 苦情処理に関する業務

【サービス提供時間】

- 火曜日、水曜日 9時～15時

【職員体制】

- 管理者1名（常勤兼務）
- 相談支援専門員2名（常勤兼務）

相談実績

【相談方法状況】

相談方法	相談件数
訪問（自宅）	79
訪問（特別支援学校）	0
電話相談	0
合計	79

【障害別状況】

障害名	人数
知的障害	72
精神障害	2
発達障害	5
その他	0
合計	79

【相談内容】

内容	件数
サービス利用等	79
保育・教育等	0
健康・医療等	0
社会参加・余暇活動等	0
合計	79

【職員研修】

期日	研 修 名	場 所	参加者
5 月 11 日	相談支援事業所全体会	愛光社会福祉事業協会	綿野
8 月 16 日	事例検討会プロジェクト打ち合わせ	りんく会議室	綿野
9 月 21 日	就労アセスメントのポイント	地域福祉課会議室	綿野
10 月 31 日	事例検討会プロジェクト打ち合わせ	りんく会議室	綿野
11 月 27 日	事例検討会	総合福祉通園センタールネス	綿野 大澤
3 月 15 日	介護保険との連携	高岡病院	綿野
1 月 30 日	保育所等訪問支援入門編	ウエルカムハウススワン	綿野 大澤

放課後等デイサービス オリオン

事業報告

児童福祉法に基づき、現状の生活状況等を把握する事で、「将来を見据えた充実した療育支援の場」としてサービスの提供を行い、それぞれの年齢や環境に応じた課題を掲げ、利用児童が生活能力の向上を図るために必要な支援を提供する。各関係機関とも連携し、利用児童が安心して生活できるように努めた。また、対象児童の支援を行うと共に保護者へのレスパイトケアを実施した。

事務関係・施設設備管理業務報告

	保健衛生	事務関係
定例	検温・体調チェック（利用児童・随時） 健康診断（職員・年2回） エアコン・窓掃除（2ヶ月に1回） 室内掃除（随時） 大掃除（年2回）	障害児通所給付費（放課後等デイサービス）請求 預金・小口預金 取引業者支払（末日締め、翌月払い） 福祉・介護職員処遇改善 計画書 実績報告書提出 利用児童負担金請求 振替

平成30年度行事等実施報告

様々な経験を積み重ね室内活動や外出などを提供した。ただ活動に参加してもらうのではなく、地域生活等で必要な社会的ルールやマナーを身に付けれるように支援を行った。

	内 容	日 時
定例	音楽療法 スヌーズレン 映画鑑賞 定期外出 その他	月3回 週1～2回 月2回 2ヶ月に1回 随 時

期 日	行事内容	場 所	担当者
4月 24日	避難訓練	オリオン	柴田・栗原・甲斐・藤中
28日	誕生日会	オリオン	柴田・栗原・甲斐・兼田・前田
5月 4日	調理実習	オリオン	柴田・栗原・甲斐・灘兼田
14日	買い物実習	オリオン	柴田・梶・甲斐・藤中
15日	買い物実習	オリオン	柴田・栗原・梶・甲斐
16日	買い物実習	オリオン	柴田・栗原・梶・藤中
17日	買い物実習	オリオン	柴田・栗原・甲斐・藤中
18日	買い物実習	オリオン	柴田・栗原・梶・甲斐
6月 18日	誕生日会	オリオン	柴田・栗原・甲斐・藤中
21日	誕生日会	オリオン	栗原・梶・甲斐・藤中
7月 2日	買い物実習	オリオン	柴田・栗原・梶・甲斐・藤中・

4 日	買い物実習	オリオン	兼田
6 日	買い物実習	オリオン	柴田・栗原・灘・藤中
14 日	買い物実習	オリオン	柴田・梶・甲斐・藤中
20 日	誕生日会	オリオン	栗原・梶・甲斐・藤中
24 日	外出	三ツ矢サイダー工場見学	柴田・栗原・梶・甲斐・藤中
30 日	買い物実習	オリオン	柴田・栗原・梶・甲斐・藤中 柴田・栗原・梶・甲斐・藤中
8 月 10 日	外出	おさるの森	柴田・栗原・梶・甲斐・藤中
29 日	買い物実習	オリオン	柴田・栗原・梶・藤中・天野
30 日	買い物実習	オリオン	栗原・梶・甲斐・藤中・天野
9 月 17 日	調理実習	オリオン	柴田・栗原・梶
24 日	外出	太陽公園	柴田・栗原・梶・甲斐・藤中・
26 日	調理実習	オリオン	兼田 柴田・梶・甲斐・藤中
10 月 8 日	おやつ作り	オリオン	柴田・梶・甲斐・藤中
22 日	避難訓練	オリオン	栗原・梶・甲斐・藤中
27 日	ハロウィン	オリオン	柴田・栗原・梶・甲斐・藤中・ 兼田
11 月 23 日	外出	レインボーワールド姫路店	橋本・栗原・甲斐・梶・栗原
12 月 15 日	誕生日会	オリオン	栗原・甲斐・梶・藤中・天野
25 日	クリスマス会	オリオン	橋本・栗原・甲斐・梶
26 日	しめ縄作り	オリオン	栗原・甲斐・梶・藤中・兼田
29 日	大掃除	オリオン	栗原・甲斐・灘・藤中・兼田
1 月 4 日	初詣	港神社	橋本・栗原・甲斐・梶
5 日	初詣	港神社	橋本・栗原・甲斐・梶
14 日	外出	おもちゃ王国	橋本・栗原・甲斐・梶・藤中
23 日	お菓子作り	オリオン	橋本・栗原・甲斐・梶
2 月 2 日	豆まき	オリオン	栗原・甲斐・梶・藤中
3 月 2 日	ひな祭り	オリオン	栗原・甲斐・梶・藤中
21 日	陶芸体験	オリオン	栗原・甲斐・灘
25 日	調理実習	オリオン	橋本・栗原・甲斐・梶・藤中
27 日	陶芸体験	オリオン	橋本・栗原・甲斐・兼田
30 日	卒業パーティー	オリオン	栗原・甲斐・梶・藤原

施設外職員研修報告

利用児童により質の高い支援が提供できるよう職員の資質向上に努めた。その一環として、積極的な施設外研修への参加を行なった。

期 日	研修名	場 所	参加者
6 月 11 日	発達障害 「不適切行動への対応」	神戸市青少年会館	甲斐

15 日	家庭療育支援講座	高砂市ユーアイネットセンター	柴田
7 月 22 日	行動擁護従事者養成研修	若葉福祉作業所	栗原
28 日	行動擁護従事者養成研修	若葉福祉作業所	栗原
8 月 5 日	行動擁護従事者養成研修	若葉福祉作業所	栗原
9 日	相談支援従事者初任者研修	明石市民会館	灘
10 日	相談支援従事者初任者研修	明石市民会館	灘
9 月 7 日	サービス管理責任者等研修	明石市民会館	灘
14 日	強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所	甲斐
15 日	強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所	甲斐
10 月 20 日	強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所	柴田
21 日	強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所	柴田
11 月 22 日	「気づき」と「できる」から始める フレームワークを活用した自閉症支 援	花北市民センター	甲斐
12 月 13 日	アセスメントと支援提供の基本姿勢 放課後デイサービスガイドラインの 説明	福祉のまちづくり研究所	灘
1 月 25 日	兵庫県障害児通所支援事業所研修会	ピフレホール	栗原
2 月 8 日	虐待未然防止研修	兵庫県福祉センター	栗原
21 日	兵庫県知的障害者施設委員会 スタッフ委員会 新任職員研修会	神戸市勤労会館	栗原

平成 30 年度 施設内職員研修報告

施設外研修で得た知識を他職員へ発信し、全職員が情報を共有することで、職員の資質向上に努めた。また、ケース会議を行い、利用児童に対する支援方法を定期的に見直した。

	研修内容	講師	参加者
4 月 24 日	避難訓練（日中想定）・消火訓練・通報訓練	姫路市消防局	利用児童・職員
5 月 15 日	研修報告、個別支援について		職員
6 月 15 日	支援会議報告、個別支援について		職員
9 月 10 日	業務変更点について、個別支援について 研修報告		職員
10 月 9 日	ケース会議、業務改善について		職員
10 月 22 日	避難訓練（日中想定）・消火訓練・通報訓練	姫路市消防局	利用児童・職員
11 月 9 日	ケース会議		職員
12 月 17 日	ケース会議、業務について		職員

1 月 22 日	ケース会議・業務変更点について		職員
2 月 15 日	ケース会議、4 月からの業務変更点について		職員

平成 30 年度 資格所得者

取得資格	人数（総取得数）
介護福祉士	(3 名)
保育士	(1 名)
社会福祉主事	(2 名)
放課後児童指導員	(2 名)

オリオン日課

時間	学校終了後	時間	休校日
14：30～	学校迎え（授業終了時間に応じる）	10：00～	随時来所 挨拶・片付け・健康管理
15：00～	随時来所 挨拶・片付け・健康管理 トイレ誘導	12：00～	トイレ誘導 個人指導・自由遊び 昼食
16：30～	個人指導・自由遊び	15：00～	歯磨き・身辺整理 個人指導・自由遊び
16：45～	おやつ	15：30～	おやつ
17：00～	片付け・トイレ誘導	15：45～	片付け・トイレ誘導
17：15～	帰る準備	16：00～	帰る準備
17：30～	帰宅		帰宅

利用児童学校別表

	小学校	中学校	高等学校
男児	27	5	4
女児	5	1	2
合計	32	6	6

利用児童市町村別表

	姫路市	高砂市
男児	33	3
女児	8	0
合計	41	3

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
土井医院	内科全般	的形町の形 1761-20	079-254-0732

事故報告・ひやりはっと報告

怪我や事故が発生する事がないように努めた。今後も一歩間違えれば命に関わる重大な事柄であると全職員が意識し日々職務を全うする。

事故内容	件数	ひやりはっと内容	件数
怪我・転倒	0	転倒・怪我	0
その他	0	その他	0

平成 30 年度 余暇活動報告

たくさんの経験を積み重ねてもらえるよう、様々な余暇活動を提供した。活動に参加し、楽しむことでストレスの軽減を図り、安心して過ごせる手助けとなるように工夫した。また、今後地域で生活する上で必要と考えられる社会的ルールを身に付けられるように支援した。

音楽療法

【目的】

音楽を聴きリズムを取ることで体を動かしたり、好きな曲を聴き心身をリラックスさせる体験をする。講師に対して挨拶や曲のリクエストを行うことで、他者との関わり方や社会的ルールを学ぶ機会になると考える。

講 師	教室日	時 間	参加者
高谷優子先生	月 3 回	14：30～15：30	利用児童・職員

【内容】

講師来所時、退所時には挨拶を行い、社会的ルールを学べるよう支援した。準備や片付け等活動を行うために必要なことは、出来る限り参加児童に行なってもらい自分達で活動の場を作り上げてもらった。曲をリクエストすることにより、意思決定や自分の意思を伝える方法を身につけられるよう支援した。アップテンポな曲は一緒にリズムをとり、静かな曲では聴きこむというようにその場に合った楽しみ方ができるように工夫した。

スノーブレン

【目的】

心身のリラックスを行い、ストレスの軽減を図る。場面に適した過ごした方を学ぶ場として活動に参加してもらった。

活動日	時 間	参加者
週 2 回～3 回	1 時間	利用児童・職員

【内容】

音楽や映像を利用し空間作りに努めた。マッサージやストレッチを提供することで、よりリラックスできるように工夫した。

映画鑑賞

【目的】

映画館の利用が難しい児童も一緒に映画を楽しんでもらう。場面に適した過ごし方を学ぶ場として活動に参加してもらった。

活動日	時 間	参加者
月 2 回	1 時間～1 時間半	利用児童・職員

【内容】

児童が楽しめる内容を考え映画鑑賞の場を提供した。「静かにしなければならない場面では静かにする」「話したくなかった時は退出する」等、場面に応じた行動が取れるように支援した。

苦情の状況集計

平成 30 年度の苦情は 0 件であった。この結果に甘んじることなくより良い支援を提供できるように尽力していく。

本人		家族		その他		計	
苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
0	0	0	0	0	0	0	0